

## 製品の詳細はこちらで検索

### お問い合わせ窓口一覧

法人のお客様向け  
IBM製品、  
製品仕様に関する  
お問い合わせ

#### コンシェルジュ・ダイヤル

# 0120-03-9966

受付時間 月曜～金曜9:30-17:30(土・日・祝、12月30日-1月3日を除く)  
当窓口はお客様のご質問に対するご相談窓口です。  
ビジネス・パートナー様は、下記IBMビジネス・パートナー様向け窓口をご利用下さい。

法人のお客様向け  
障害受付窓口

#### IBMサービス・ライン

# 0120-34-0000

(フリーダイヤル) ガイダンスに従って窓口を選択してください  
受付時間 24時間(お客様のご契約内容により個々の窓口の受付時間は異なります)

IBMビジネスパートナー様向け  
販売前お問い合わせ窓口  
IBMシステム製品に関する  
製品・サービス販売のご相談窓口

#### BPコンタクトIBM

# 0120-07-2004

(フリーダイヤル) ガイダンスに従って窓口を選択してください  
受付時間 月曜～金曜 9:00-12:00 および 13:00-17:00  
(土・日・祝、6月17日、12月30日-1月3日を除く)  
ご利用にはIBM PartnerWorldへの加入(無料)が必要です。  
IBM製品・サービスをお取り扱いいただける販売会社様社員の方であれば、どなた様でもウェブサイトからご登録いただけます。  
[ibm.com/partnerworld/jp/](http://ibm.com/partnerworld/jp/)

2010年9月版

※記載の情報は、2010年9月現在の情報です。製品の仕様および価格等は事前の予告なく変更される場合がございます。  
●IBM、IBMロゴ、ibm.com、BladeCenter、Express Advantage、Express Advantageロゴ、System xは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。  
インテル、Core、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

# Hyper-Vで 仮想化サーバーをはじめよう!

## 目次

Windows Server 2008 R2 Hyper-Vとは? ..... P1, P2

Hyper-Vで、こんな課題を解決!

- テスト・開発環境を手軽に準備 ..... P3, P4
- 古いアプリケーションを継続利用 ..... P5, P6
- サーバー統合でコスト削減 ..... P7, P8
- Windows OSライセンスのコストを抑えたい ..... P9, P10

Hyper-Vなら、こんなこともできます! ..... P11

Windows Server 2008 R2 IBM版がおすすめ ..... P12

IBM Hyper-V仮想化太鼓判構成 ..... P13, P14

# Windows Server 2008 R2 Hyper-Vとは？

## ●Hyper-Vとは

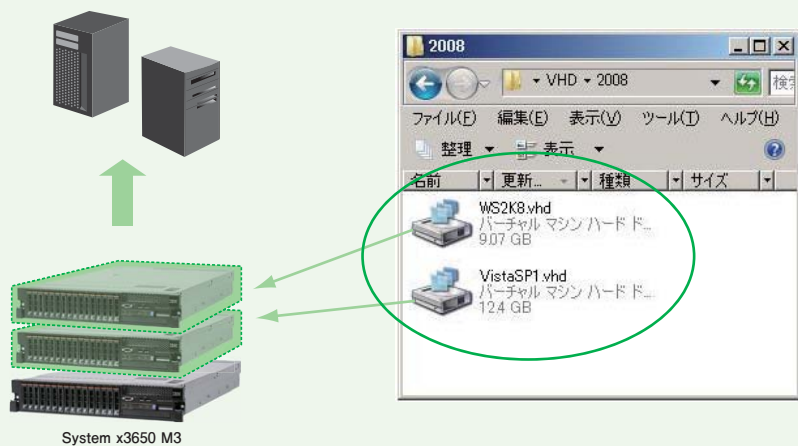
Windows Server 2008 R2の標準機能として提供する、サーバーの仮想化基盤です。

サーバー仮想化を実施するとWindows Server 2008 R2上で、Windows 2000 Serverなどを動作させることができます。これによりサーバー統合が可能になり、たとえば、2台の物理サーバーを仮想化して1台の物理サーバーに統合し、省スペース、省電力を実現します。さらに、ビジネス継続性や運用管理業務の効率化に貢献します。

## ●Hyper-Vの仕組み

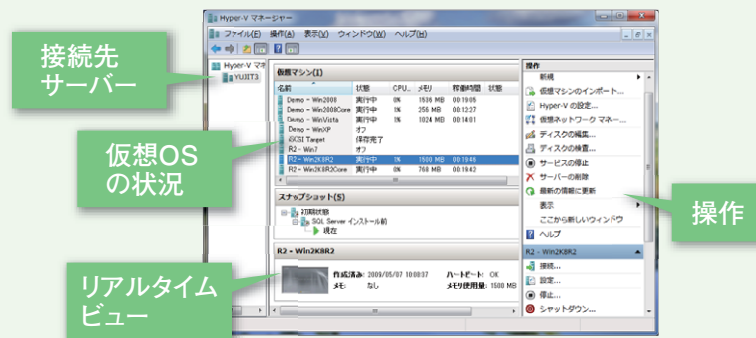
仮想マシンのディスクは、物理サーバーから1つのVHD形式のファイルとして認識されます。

このVHDファイルを別の物理マシンにコピーすれば、別の物理マシンで稼働させることができます。そのため、ハードウェアの交換が簡単になります。



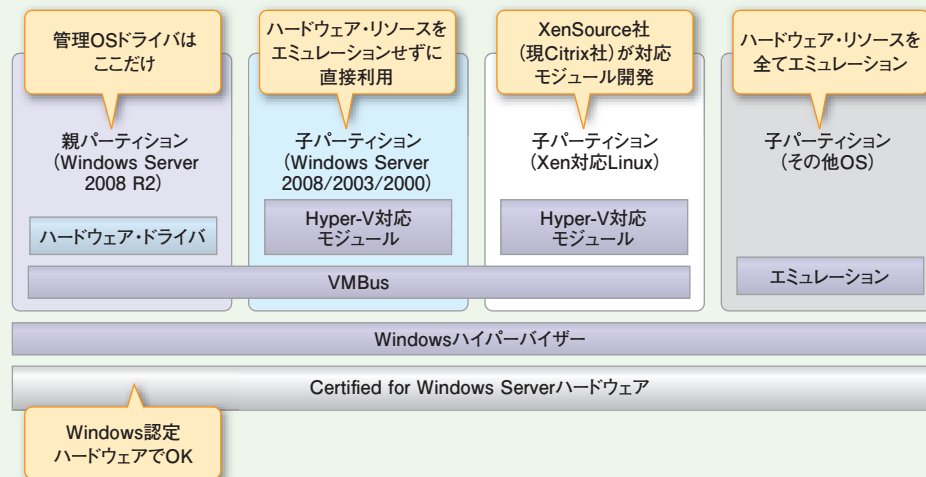
## ●Hyper-V管理コンソール

GUIベースのHyper-V管理コンソールを提供しており、リモート接続して管理も可能です。



## ●Hyper-Vアーキテクチャ

ハイパーバイザー型の仮想化技術を採用し、高パフォーマンスな仮想環境を提供します。

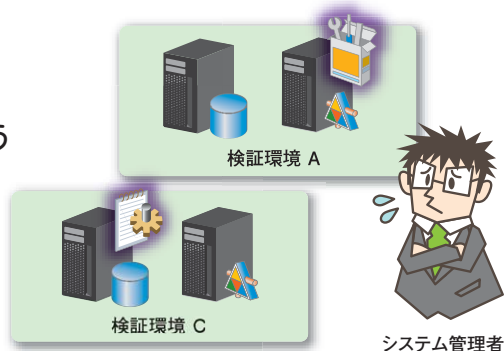


# Hyper-Vで、こんな課題を解決!

## ●テスト・開発環境を手軽に準備

課題: テストや検証環境を毎回準備するのが大変

ハードウェアの調達に  
数週間待たされてしまう

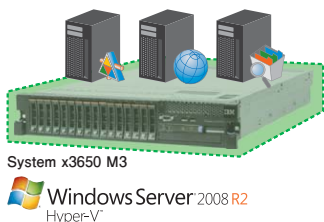


わずかな環境の違いでも  
いちから構築

- 検証環境のパターン構築が大変
- 環境の保管を効率化したい

解決策: 仮想イメージから必要な環境を素早く展開

作成した仮想マシン・ファイルを  
手軽に保管/復元



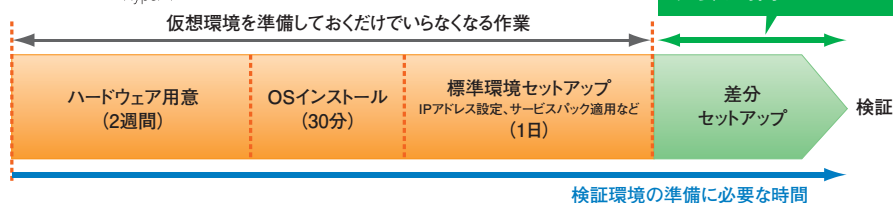
スナップショット(S)

WS2008 - (2009/10/01 - 11:40:28)

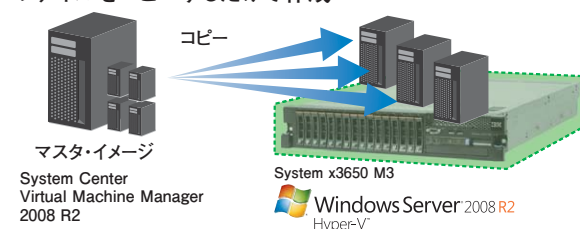
現在

スナップショットを含めた  
エクスポート/インポートも OK

Hyper-Vなら  
必要な時間はこれだけ!



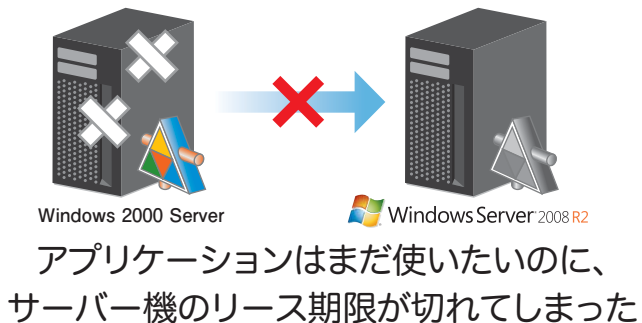
仮想マシンの大量作成の時には  
ファイルをコピーするだけで作成



- System Center Virtual Machine Managerプロビジョニング  
あらかじめ標準となる環境を仮想環境で準備標準環境との差分だけを、  
追加でセットアップ
- 仮想マシンのインポート/エクスポート  
作成した仮想環境を保管/復元

# ●古いアプリケーションを継続利用

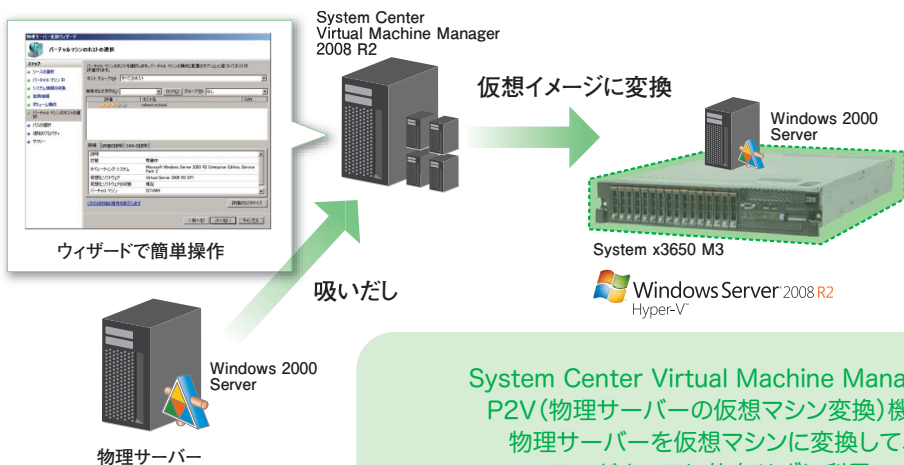
課題: 古いサーバーを交換したいけれど、アプリケーションは改修したくない



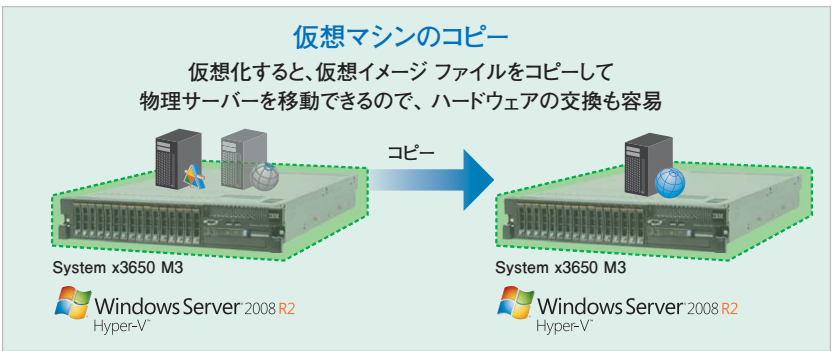
システム管理者

新しいハードウェアは OSが違うので  
今のアプリケーションがそのまま動かない  
新しいOS用にアプリケーションを  
改修するのは大変

## 解決策: System Center Virtual Machine Manager で物理サーバーを仮想マシンに変換

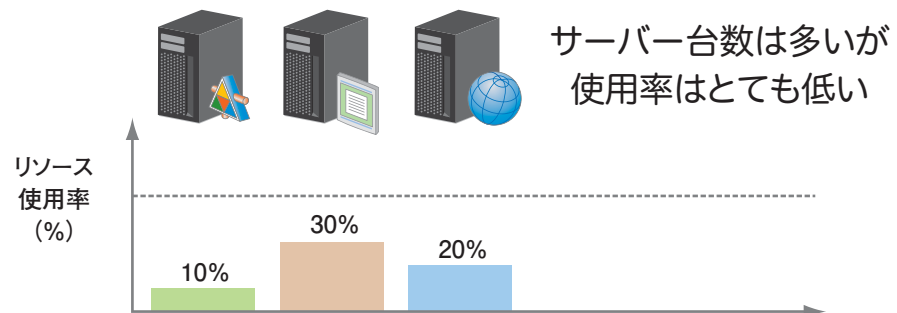


System Center Virtual Machine Manager P2V (物理サーバーの仮想マシン変換)機能  
物理サーバーを仮想マシンに変換して、  
ハードウェアに依存せずに利用



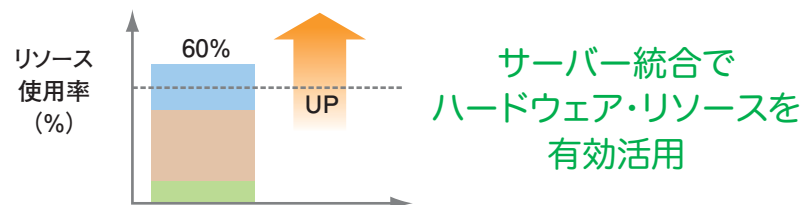
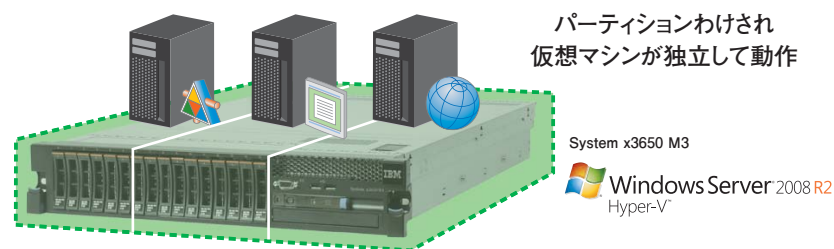
## ●サーバー統合でコスト削減

課題: サーバーの台数を減らしてコストを削減したい



サーバー台数が多くて管理が大変  
電力消費や管理コストも  
膨らむばかり

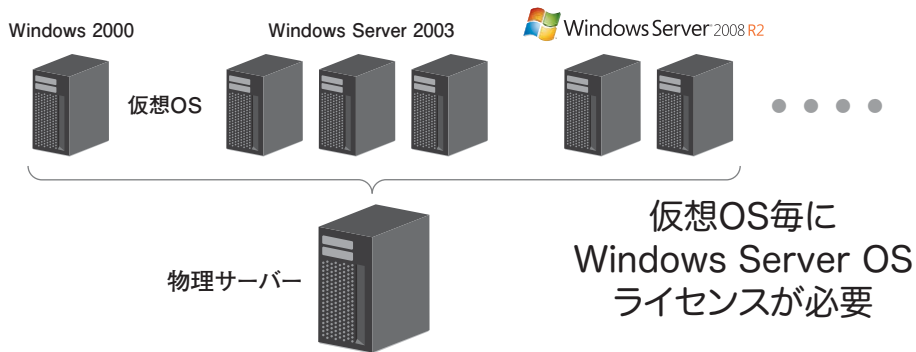
解決策: 仮想化を利用してサーバー統合



Hyper-V  
仮想サーバーの独立性を保ちながら、  
1台の物理サーバーに統合  
サーバー台数が減り、サーバー設置スペースや  
電力も削減できる

# ●Windows OSライセンスのコストを抑えたい

課題: 仮想化環境でのWindows Server OSライセンスの コストを抑えたい



仮想 OS が増えるとコスト高  
サーバーOSライセンスを  
もっとお得に購入したい

## 解決策: Windows Server 2008 R2 Enterpriseまたは Datacenterを選択

### かしこい選び方① -小・中規模利用にお勧め-

- Windows Server 2008 R2 Enterprise を購入



仮想OS分のライセンスが付属  
(1台のサーバー上で同時に仮想OSを4つ動かす権利付き)

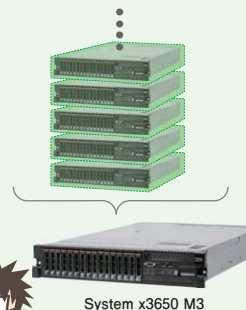
2003等へのダウングレードもOK

1台のサーバー上で  
同時に仮想OSを3つ以上動かす場合、  
お得!

Enterprise / Datacenterを購入  
仮想OS分のライセンスが付属してお得

### かしこい選び方② -大規模利用にお勧め-

- Windows Server 2008 R2 Datacenter を購入



仮想OS分のライセンスが付属  
(1台のサーバー上で同時に仮想OSを無制限に動かす権利付き)

無制限のため、ライセンス管理も簡単

物理CPU、1つあたり  
同時に仮想OSを4つ以上動かす場合、  
お得!

\*Datacenterは物理CPU単位のライセンス。物理CPUが2つ以上のサーバーでのみ利用可能



## Hyper-Vなら、こんなこともできます！

**Q** 物理サーバーが停止しても  
仮想化マシンを継続して使いたい

**A** Hyper-V 2.0のクラスタリングで物理サーバー障害に対応できます。  
Windows Server R2 Enterprise / Datacenter標準搭載のフェールオーバー・クラスタ機能により実現できます。  
追加費用も発生せず、自動で切り替わりシステム停止時間の最小化を図ります。  
メンテナンス等では、オンラインのまま仮想化マシンへ移動するライブ・マイグレーションが可能です。

**Q** 仮想マシンと物理サーバー毎に管理するのは  
作業が二重化して大変そう・・・

**A** System Center Operations Managerなら、物理でも仮想でも、発生したエラーを把握できます。  
環境によって管理ツールを使い分ける必要がなく、簡単に管理できます。異なる仮想基盤でも一元管理可能です。

**Q** 仮想マシンのバックアップは  
どうしたらいいの？

**A** System Center Data Protection Managerで、仮想サーバーを停止せずにバックアップでき、差分バックアップも可能です。  
また、仮想マシンをファイルとしてバックアップすることも可能です。  
仮想サーバーのバックアップは、ウィザードのチェックボックスで設定でき、バックアップの設定も簡単です。

## Windows Server 2008 R2 IBM版がおすすめ

IBM System xと一緒にWindowsも調達するという考え方

### お客様がWindows Server 2008 R2 IBM版を選ぶ理由

**柔軟性** お客様のニーズに応じた、サーバーとOSの導入・提供ができます。

**利便性** IBMよりサーバーとOSを一括してご提供いたします。

**短納期** ディストリビューター様にて在庫しているため、リード・タイムを短縮できます。

**迅速性** OSとサーバーの分離により、最新製品をより早く市場へ投入できます。

**低価格** 既存チャンネル (FPP/VL) よりもリーズナブルです。

**一元化** サーバーだけでなく、OSもIBMによる技術サポートの対象となります。



System x/BladeCenterに、Windows Server 2008 R2 IBM版をご活用ください！

Windows Server 2008 R2 IBM版 ▶ [ibm.com/systems/jp/x/osoptionkit/](http://ibm.com/systems/jp/x/osoptionkit/)

# IBM Hyper-V仮想化太鼓判構成

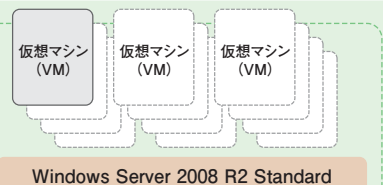
## 太鼓版構成とは？

- IBMスペシャリストによる動作確認
- IBMによってリリースされる導入ガイド
- IBMの新ヘルプライン・サービス(有償)によるお問い合わせ窓口の提供

この三拍子そろった基盤ソリューション構成がIBM 太鼓判構成です。  
手順に従い導入するだけで構築できるお手軽さと、  
環境に併せた拡張性/柔軟性も魅力です。

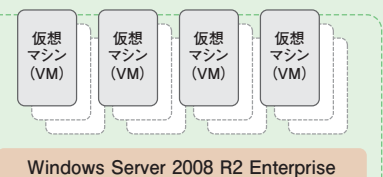
## 「今すぐ仮想化」構成

- 大規模システム導入前のテスト環境構築に最適
- 小型で管理者の手元で構成可能なタワー型サーバー構成



## 「今すぐ仮想化」本格構成

- 複数の中小規模のサーバーを、信頼性の高い1台のサーバーに統合する用途に最適
- 本格運用を見据えたラック・マウント型サーバー構成



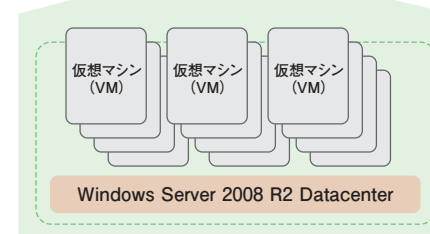
詳細は

IBM TAIKOBAN

検索

## 「今すぐ仮想化」大規模構成

- 7台以上の中小規模のサーバーを、信頼性の高い1台のサーバーに統合する用途に最適
- 仮想化に求められる高性能プロセッサ、大容量メモリ、豊かな拡張性といった要素を兼ね備えた、仮想化に最適なラック・マウント型サーバー構成



## 「今すぐ仮想化」ライブ・マイグレーション構成

- 無制限仮想OS分のライセンスをさらに有効に活用したいというご要望にお応えする、ライブ・マイグレーションに対応した構成
- 本格的な仮想環境に、優れた耐障害性が加わることで、可用性をさらに向上させた構成

